

平成27年度 第2回 甲賀市学校給食センター運営委員会 結果

平成28年2月25日(木) 13:30~14:40
甲南公民館 情報資料室

出席委員：沢井讓委員、猪井宏子委員、清水有希委員、荒木勇雄委員、宇田勝弘委員、
江島康代委員

委任状提出者：寺内一委員、村田喜代美委員、清水美由希委員

欠席委員：市村美雪委員、片矢千賀代委員、小林友深委員、高岡仁美委員、山元俊行
委員、隠岐良達委員、古倉みのり委員、野崎昭彦委員

関係者：学校教育課 課長補佐 松村

東部学校給食センター 所長 西村、栄養教諭 吉田

信楽学校給食センター 所長 広岡、栄養教諭 春山

事務局：教育委員会事務局次長 保井、教育総務課 参事 廣岡、主査 西野

傍聴人：1名

1. 開 会 (司会：教育総務課 参事 廣岡)

黙 祷

市民憲章唱和

2. あいさつ (教育委員会事務局 次長 保井)

3. 議 事 (沢井委員長(議長)による進行)

(1) 給食費について【P4~7】(説明：教育総務課)

平成16年度から同じ給食費の金額で維持をしてきているが、消費税を入れた物価上昇は約10%となってきた。甲賀市では消費税が5%から8%になった時も給食費を据え置きにしている。案としてはP4のとおり、物価上昇率での試算はP5、文部科学省の学校給食標準食品構成表での試算はP6、県内他市の状況はP7。

改定案 ・園2,000円/月 ・小学校3,800円/月 ・中学校4,400円/月

平成28年度に再計算し、運営委員会等に提出、広報をして、平成29年4月から改定としたい。

現場では、単価の高いデザート回数を減らしたり、肉や魚は部位を安価なものなどを使用したり、栄養士が限られた予算の中で工夫して食材を調達している。

食材を扱う業者でも、安心安全な給食を提供するために、衛生管理を以前より増して徹底するようになり、結果的に価格に影響してきている。

このままの低価格で給食費を維持すると、献立が単調化して、子どもたちの魅力が減ってしまったり、健康維持や栄養バランスの良い献立を作成することが難しくなったり、食材が限られてくると、おいしさにも影響を及ぼしたりしてくる。

これらのことから給食費を改定したいと考えている。

委員＞ 低所得者対策は。

教育総務課＞ 生活保護世帯は福祉施策で対応。準要保護世帯は就学援助金に給食費も含まれている。

委員長＞ 栄養士さんから何か補足等ありますか。

栄養士＞ 示された栄養基準に合わせていかなければならず、献立を考えることがかなり難しくなっているのが事実。安全なものを優先しているので、安くても悪いものは使えない。

委員長＞ 保護者の方からは。

委員＞ 産地や農薬の使用のことを考えると、少々高くても地場産や安心安全を重視したものを使用してほしい。保護者のみなさんも物価が上昇していることは分かっていると思うので、必要なものは必要として進めていってほしいと思う。

委員＞ 今まで低価格でもらっているが、現状を考えると給食費が上がるのは仕方がないと思う。月何千円あがるというものではないので。

委員＞ この給食費には、人件費や運搬費はどのように算入されているのか。

教育総務課＞ 給食費は食材費のみであり、人件費などの運営に係る経費は市の一般財源で賄っている。

委員＞ 安い中から一生懸命探してもらっているのだが、食材の選定方法は。地産地消や安心安全の面での確認はどのようにしているのか。

給食センター＞ 献立は、前月に栄養士が作成。業者から見積をとり、製品の単価と食材に含まれているものをすべて書類で確認。魚類等は見本をもらっている。その中から栄養士や所長等で吟味してから発注している。食材納品の事前確認は栄養士等が行っている。

委員長＞ 地元産の指定なしで購入しているのか。

教育総務課＞ お米については全て甲賀市産。月1回は地元食材を使う日を決め、その日は地元産を優先して使用している。

また、最近では地元産が安く落札されることも多い。ただし量や規格の部分で応札されないこともある。

(2) 給食センターについて【P8～10】（説明：教育総務課）

現在、老朽化した水口と信楽学校給食センターを統合した（仮称）甲賀市西部学校給食センターを、建築するための設計の段階。

建築の設計業務の入札が1月にあり、株式会社大村建築設計事務所が落札。

概要はP8。用地の取得は12月議会で承認された。建築期間は建築設計完了後から約1年要し、平成30年4月からの供用開始を予定している。

市役所・県事務所・消防署・警察署と隣接、防災面にも配慮し、災害時に食料を供給できる施設として米飯施設も計画している。建物の詳細はまた資料が出来次第公開。

今後の検討となるが、アレルギー対応食については、全てのパターンに対応するのではなく、例えば卵・乳に対応したものを提供する等の予定。

委員長＞ 現在の給食センターとの比較は。

教育総務課＞ 現在の水口学校給食センターで約4,900食、信楽学校給食センターで約1,100食で、合計6,000食を調理。

委員長＞ アレルギーを持つ児童生徒が増えてきているが、全部はできないにしても、対応できるように進めてくということ。このことに対して何か意見は。

委員＞ 今は各家庭でアレルゲンの確認をしている。アレルギー対応ができればかなり負担は軽減される。

教育総務課＞ 全てに対応をするのは、誤食の危険性もあり困難と思われる。どのような対応をしていくかは、今後、学校や保護者の方と話し合い検討していかなければならない。

施設としては、アレルギー対応食が調理できる部屋を設置する計画をしている。

委員＞ 学校での対応も、今までは食べてはいけないもののチェック等であったが、提供するものが変わってくるので、十分対応を考えていかなければならない。

委員＞ 給食の配膳は難しい。小学校1年生でも「この子は〇〇アレルギーやから入れたらあかん」と児童から言われることがあった。周りの児童に周知されていたら良いが、今は様々なので怖いと思った。給食委員がうっかり入れてしまうと、本人がもったいないと思ってよそってしまうとか、おいしそうと思って食べてしまうと、色々なリスクがある。

学校教育課＞ 教職員に対しては、新年度が始まる前の3学期にアレルギー調査を行っている。学校生活管理指導表でエピペン所持者も把握。市のアレルギー対応マニュアルも作成した。緊急時に備え消防署とも連携をとっている。

委員＞ 信楽では近くで温かい給食が提供されてありがたかったと思っているが、この予定地では信楽は遠いと思う。配送に時間がかかると温かい給食が冷めてしまう。

教育総務課＞ 合併特例債も活用して、1か所で効率よく調理していきたい。食缶類の保温性も良くなってきているので、それらを踏まえて配送の対応も考えたい。調理後2時間以内に届けられるように調理時間と配送時間も調整していく。

委員長＞ 見学の対応は。

教育総務課＞ 現在、水口と東部学校給食センターでは見学対応ができています。新センターも2階に見学通路を設置する予定。予算の問題もあるが、見えない部分はカメラを設置できればと思っている。

(3) その他

○食物アレルギーに関する保護者意見交換会の報告（説明：教育総務課）

事務局で検討している中で、前回の運営委員会でも、アレルギーに関する保護者意見交換会を実施できないかとの意見をいただき、今年2月9日に意見交換会を実施。

案内は学校生活管理指導表を提出者である小中学校約100名の児童生徒の保護者。これは前回の運営委員会資料でアレルギーを持つ児童生徒として把握している数字。出席者は小学校で12名と中学校で2名の計14名の保護者の方。欠席される方でも意見のある方は、記入して提出してもらった。出席の方以外に約30名の方から意見等

の記入があった。意見交換会を含めた意見で主なものを報告する。

- ・卵アレルギーの方が多いので、卵の回数を減らしてほしいという意見。

最近ではアレルギーに配慮して、工夫してなるべく卵を使用する回数を減らしてもらっているようで、ありがたいという意見もたくさんあった。

- ・パンに対する意見。

小麦アレルギーの方は食べられないので、米粉パンを提供してほしいという意見もあった。

実際に米粉パンを提供させてもらったこともあるが、業者発注であり、予算的なことも懸案である。パンの配合内容については、県で統一した規格で提供している。

- ・アレルギーをもつ家庭には、詳細に示した成分表を配布しているが、それが見にくいということと、ホームページで公開してほしいという意見もあった。

業者作成で統一されていないため、難しい面はたくさんあるが、検討していく。

- ・小麦の使用について、フライもので減らせないかという意見。

フライは難しいが、からあげには米粉を使用することが多い。

他に、シチューについても牛乳ではなく豆乳を使用することもある。

- ・アレルギー児に対する学校の対応にばらつきがあるという意見。

個別に保護者さんと話し合い、状況に即して学校で対応しているので、どうしてもばらつきが出る。全体としてはエピペン使用研修。春休みには、転入教員への研修を行っている。

- ・献立変更等の連絡について

文書はその日に持って帰ってもらう。アレルギーに関係する方は、学校・園から個別に保護者へ連絡。

- ・新センターのアレルギー対応

本日の議題(2)と同じ回答

厳しいご意見もあったが、感謝の気持ちを記入していただいている方も多くあった。

やはり、子どもたちの気持ちを考えた時に、みんなと一緒に同じ給食を食べたいという思い。その思いに少しでもお応えしていけるようにしていきたい。

>意見なし

4. 閉 会 (教育総務課 参事 廣岡)